

智辯坂へ

私が智辯坂を登るのは、もう五年目になる。一年生のころは、大きなランドセルを背負って智辯坂を登り切るこだけで必死だった。

けれど、毎日坂を登っていくうちに、いつの日からか、色々なことを考えながら登っている自分に気付いた。「今日の昼休みは何をして遊ぼうかな」

「今日のテストはむずかしくないかな」、「今日の体育と図工楽しみだな…」

智辯坂には、たくさんの桜の木がある。季節の移り変わりを感じながら登る日もある。毎日楽しみな事を考えながら登っているがたまにゆううつな気持ちで登る日もある。そんな日でも、いつも同じ智辯坂

毎日、毎日私の色々な気持ちを受け止めてくれて**ありがとう**。
あと7年もこの坂を登ることになるけれど、これからも、ずっと、ずっと、

よろしくね。

解説文

智辯坂とは... 学校の校門から、小学校の玄関まで続く坂のこと。